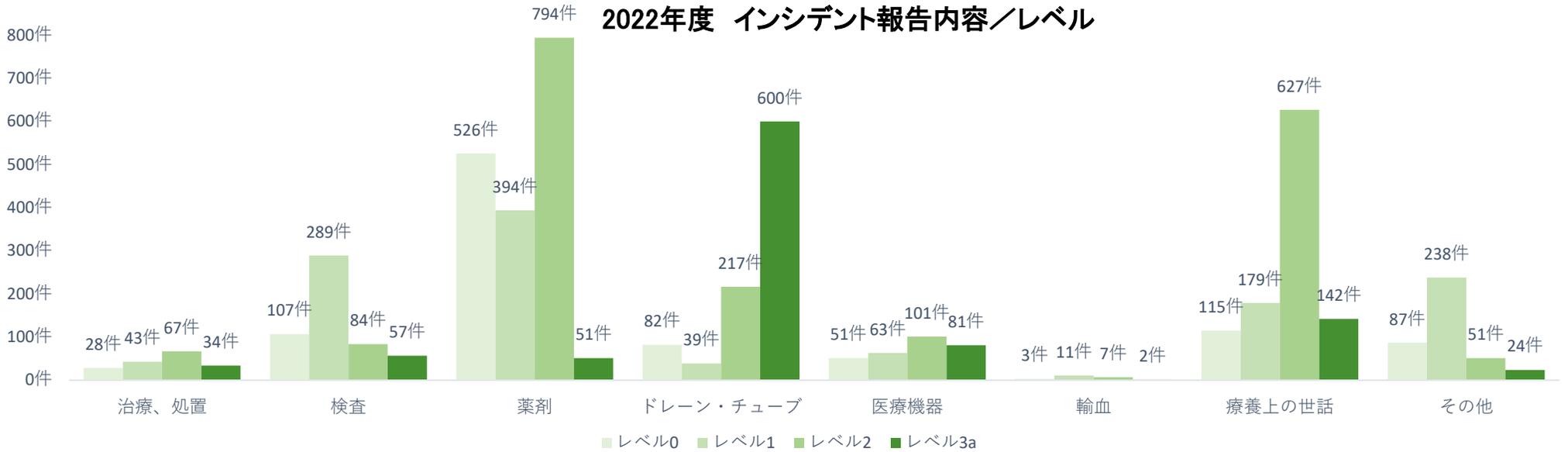


2020年度－2022年度 月別インシデント報告件数推移



2022年度 インシデント報告内容／レベル



2022年度 職種別インシデント報告件数／割合



【指標の説明】

身体への侵襲を伴う医療行為には、常にインシデント・アクシデントが発生する危険を伴います。その発生を出来る限り防ぐことは医療安全の基本です。軽微な事故、または事故に至らない異常を発見し報告することで、重大事故の発生を予防できます。

インシデント報告総数が、2022年度は5,000件を超え、病院全体で0レベル(予防できたもの)であっても、インシデント報告を行うという医療安全に対する意識が常態化しています。

職種別のインシデント報告として、看護師のインシデント報告が全報告数の9割近くに達し、有害事象の有無・大小に関わらず気になったことは報告して、改善に結びつけようとする習慣が身についています。

一方、医師のインシデント報告数が1%台であることから、院内での報告方法や報告用フォーマットに工夫を加え、この割合を最低でも10%以上にするよう院内で働きかけを継続します。

インシデント内容とレベルについて、レベル0(未然事象)～レベル2(軽度傷害)までは「薬剤関連」・「療養上の世話」のインシデント報告数がレベルに応じて高くなっていますが、3a(中等度傷害)までは至っていません。

一般的に全インシデント報告数は、病床数の5倍そのうち1割が医師からのインシデント報告であることが、「医療安全の透明性の目安」と言われています。